

きずなの郷

第33号
2010 夏

発行 社会福祉法人 厚生協会

平成22年8月30日

心を信じて

理事長 鈴木政輝

厚生協会は、昭和28年に聴覚障害者の職業能力の向上と自立支援のため創設された社会福祉法人です。田村政雄初代理事長や藤川マキエ、田中皎一両先生の福祉の熱い思いが、歴代の理事長や職員に脈々と受け継がれ、今日の姿になっています。

現在、法人内の施設・事業所を利用されている皆さんは、500名程度になっていきます。障がいをもつている方、高齢者の方が日常生活をするところであり、また日帰りサービスや訪問介護、居宅介護など幅広く福祉事業を行っています。

創設時の聴覚障害者の授産事業は今も継続しており、利用者の皆さんは幸せになるためにここを利用しています。その方その人の人生があり、また縁があつて当厚生協会にお越しいた

だいっていることは、大変有難く感謝しております。利用者の皆さんのが安心して楽しく、普通に過ごせるよう職員は額に汗して、懸命に働いています。

質の高いサービスを常に考え取り組んでいますが、ともすれば、その時々の国の制度に振り回され、利用者の皆さんにその影響を与えるのではと心配しています。

私が理事長という大役をお引き受けするに当たり、「自分自身がこの施設を利用することになつたら、どうだろうか。」という思いを忘れずにはと心に決めました。

私が中学生の頃、この厚生協会の建物を見ながら、通学していたことがあります。その後、昭和51年の夏、役場担当

者の時に本町で記念すべき「全道ろうあ者福祉大会」が開催されました。参加された方々の熱い思いと行動力に「ドキドキ、ワクワク」したことが、今でも鮮明に思い出されます。この時を境に本町が「福祉のマチ、手話のマチ」として歩き始めたような気がします。今も続けられている「手話講習会」で感じる町民の皆様の熱いパワーは、その証と言えるのではないでしょ

目 次

心を信じて	厚生協会理事長 鈴木政輝	1
共生型ホーム「さくら」完成	2	
施設だより		
お花見特集	3	
わかふじ寮	4	
やすらぎ荘	5	
ひまわり荘	6	
屈足わかふじ園	8	
行事予定	9	
事業報告	10	
決算報告	13	
ご寄付・ご寄贈の御芳名	14	
わかふじ寮 ウエス販売事業のお知らせ	14	



福祉制度が激変する中で、利用者の皆さんとご家族の皆さんは、施設をそして職員を信じて毎日を過ごされています。利用者の皆さん的心と職員の心がしっかりと通じあつてていることの大切さを感じました。

厚生協会は、今後も一層信頼性の高い経営を目指し、法人組織の強化に努め、地域発展への貢献を図り、そして何よりも地域の皆さんから信頼される施設づくりに、役員一同努力してまいります。

共生型ホーム「さくら」完成

3月から工事が進められていた共生型ホーム「さくら」がこの程完成し、6月28日に引渡しを受けました。

総工費は28,230,000円で共生型基盤整備事業の補助金が財源です。完成した共生型ホーム「さくら」は旧わかふじ寮管理棟の跡地に位置しており、建物は240.76m²、2階建て、1階は高齢者・障害者向け住居2室の他、高齢者、障害者共用の食堂があり、2階は障害者専用のグループホーム4室となっています。

各部屋は高齢者、障害者共にバス・トイレ付で玄関は単独にしたマンションタイプの設計で、それぞれミニキッチンも設置されており、簡単な調理もできるようになっています。

日中の支援は、世話人と呼ばれる職員が配置され、食事の提供を中心に行っていく予定です。

対象の利用者は下記の様な方としています。障害者については障害者自立支援法に基づく共同生活援助及び共同生活介護事業所として障害者の地域生活の拠点とします。高齢者について高齢者向け住宅で食事提供を含めて、安心して暮すことができる住まいの場を提供することを目的としています。

また希望される高齢者の方については、日中活動する場を提供し、作業等を通して障害者等と触れ合う場を設ける事により、生きがいや、互いが相互の必要性を感じ、共生していく場とする予定です。

この整備事業の完了により、食事や1人暮らしに自信がない障害者や、高齢者も地域で生活し易くなるのではと思います。

利用の希望や、詳細につきましては下記までお問い合わせ下さい。



■利用定員

区分	サービス内容等	定員	契約内容	その他
障害者	共同生活援助事業所 共同生活介護事業所	4名	利用目的	全室個室 ユニットバス(トイレ付) ミニキッチン・FFストーブ
高齢者	高齢者向け住宅	2名	賃貸契約	全室個室 ユニットバス・トイレ ミニキッチン・FFストーブ

■対象利用者のイメージ

障害者	日中は障害福祉サービス事業所（わかふじワークセンター）等に通い、作業訓練を行ないながら、地域で自立した生活を希望されている方
高齢者	身の回りの事は自立しているが、1人暮らしには不安がある65歳以上で単身の方

■サービス内容

食事提供を基本としますが選択する事ができ、自分でできることは自分で行う自立支援型の生活支援とします。

	主たるサービス内容	その他
障害者	食事の提供（選択可能）相談・生活支援	見守り支援
高齢者	食事の提供（選択可能）	見守り支援



共用の食堂兼居間

■利用料金

	月額	その他
障害者	48,000円	家賃・管理費・食費を含む
高齢者	53,000円	家賃・管理費・食費を含む

※上記の金額は食事3食を提供した場合の目安の金額となっています。

※各部屋で使用する光熱水費（電気・水道・灯油・電話）・家財保険等は実費負担です。

《お問い合わせ先》

障害者支援施設 わかふじ寮

住所 上川郡新得町西3条北1丁目5-3

電話 0156-64-5001

担当者 東 貴志

お花見会 ～雨にも負けずジンギスカン～

今年の花見は5月10日に行われました。寒かった事もあって桜は間に合わず、天候も味方してくれず屋内でのお花見となってしまいました。

桜は無くても皆で焼き肉とチャンチャン焼きを食べ、長生クラブの方々とのカラオケで大いに盛り上がりました。来年は晴れて桜を見ながら出来るといいですね。



満足・満腹♪



外で歌いたかったなあ

お花見特集



5月9日 わかふじ寮、やすらぎ荘、新得やすらぎ荘 合同花見



アイヌネギ食べて元気ハツラツ☆



お母さんもいっぱい食べてね♪♪



室内だけど花満開

道東スポーツ交流大会

5月23日根室市で道東スポーツ交流会が開催されました。道東地域のろうあ者と手話サークル員がスポーツを通じて交流を図り、友好の輪を更に深めると共にろうあ者の福祉向上に寄与する事を目的とし、道東地域から120名の皆さんのが参加されました。

わかふじ寮からは19名がパークゴルフに参加しました。当日はとても寒く小雨の中での競技になりましたが全員健闘し、優勝こそは逃したものの6名の入賞を果たしました。成績は次の通りです。

男子 3位 水本 昇	女子 2位 川口 式子
4位 笠井 宏有	3位 笠井ヒロ子
6位 林 嶽	
8位 川口 豊	
横尾 義晴	
ブービー賞 北沢 宏行	



交通安全講習

5月29日（土）に町民交通安全講習（障害者向け）が実施されました。

今回の講習対象はわかふじ寮の利用者で自転車に乗車する人です。

新得モータースクールの場内コースで実際に自転車に乗って進路変更時の後方確認や交差点・信号機を渡る時の左右確認の練習をしました。目で確認する事の重要性を再認識することができたと思います。

新得警察署、新得モータースクールの皆さんご協力ありがとうございました。

尚、歩行者講習は9月25日の予定です。



研修旅行

1班 群馬方面 (6/2~6/4)

研修旅行1班は群馬県に行つてきました。

あいにくの雨にも見舞われた旅行でしたが、ジャム作りや白根山の見学と充実した研修旅行となりました。草津での湯畑散策や湯もみもなかなかできない体験とあって大満足！有名な草津温泉を堪能し、お肌つやつやでみなさん10才は若返って帰つてきました。



2班 高知方面 (6/9~6/11)

研修旅行2班は高知方面に行つてきました。

梅雨入りの時期ではありましたが、旅行期間中は雲ひとつない晴天に恵まれました。

美しい四万十川や歴史を想わせる高知城をバックに記念撮影。ホテルでの夕食では仲居さんによる鳴子を使った踊りに合わせてみんな一緒に踊り、高知を余すところなく満喫した旅行となりました。



新利用者の紹介



岩間 健太さん (20)

生年月日：平成2年2月14日生まれ
出身校：北海道高等聾学校 情報デザイン科卒業
配属先：サホロベットジャーキー工場
趣味：テレビを見ること



永井 純一さん (20)

生年月日：平成1年6月18日生まれ
出身校：北海道高等聾学校 情報デザイン科卒業
配属先：ペットパン工場
趣味：模型 パソコン 読書

開所記念 夕食会

4月1日、開所を祝う夕食会に併せて、この1年間様々な場面でお手伝いをして下さった利用者の方々へ、職員一同からの感謝を込めて「ありがとうカード」を施設長からお渡しました。

名前を呼ばれ、驚いた表情を浮べながらも、20名以上の方々がカードを受け取られ、施設長と一緒に写真に収まっていました。

冬の雪かきや夏の草取り、1日3回のテーブル拭きや食器の後片付け、牛乳パックを開く作業など積極的にお手伝いをして頂いています。年に1回の「ありがとうカード」だけでは感謝が足りないくらいですが、小さなカードに「ありがとう」の大きな感謝の気持ちを込めて、今年もお渡しすることが出来ました。



屈足ディスコダンスの会来荘

4月22日に屈足ディスコダンスの会の皆さんのが来荘されました。赤と黒をベースにした衣装を身に包み、利用者の皆さんのが馴染みのある曲に華麗なステップを踏んで会場は大変にぎやかに盛り上りました。曲に合わせて色とりどりの半天も身に着けられ、会場は花が咲いたように明るく楽しい雰囲気に入りました。

最後は利用者の皆さんも踊りの輪に加わって心ゆくまで楽しいひとときを過ごす事が出来ました。



長寿の祝 夕食会

5月31日に「長寿の祝 夕食会」が行なわれました。養護の上田益男さんと特養の須田イヨさんが米寿・卒寿になられました。今回は祝い者が2名のみでしたが、上田さんには妻のツルさん、須田さんは娘さんが出席されました。

夕食会は施設長による挨拶から始まり、お二人に赤いちゃんちゃんこを着て頂き、上田さんには服、須田さんには靴のプレゼントが手渡されました。

養護の鐘ヶ江さん、特養の奥州さんによる乾杯で、会食が始まると、利用者の方々が歌をうたわれたりと、楽しまれていました。

このような「長寿の祝 夕食会」は年3度行なわれます。これからも楽しい会が迎えられるよう、皆さんには健康で長生きしていただきたいと思います。



4月 誕生会

毎月1回、その月の誕生の方達を、みんなでお祝いする「誕生会」という行事を行っています。高齢になつて1つ年を重ねると言うことが、どれほど素晴らしい事か、このような、おめでたい日に家族の方にも、来ていただけたら、喜んでくれるだろうなあ~と思って考えた企画です。

今年で3年目を迎えた誕生会ですが、これからも、内容を充実させ、もっと利用者の方達に喜んで頂けるよう頑張っていきたいと思います。



ミニデイサービスの町内探検隊

ある日、新得町のそばは、品質が良い事で有名で、町内にある「そばの館」では、自慢のそば粉を使った「そばクリームあんみつ」が、食べられると話をしていました。

利用者から「用事がないと、普段は出かけたりしないからねえ」「生きてる内に一度は食べてみたいねえ」「町民として一度は食べてみないとね。」などと、冗談交じりの提案があり、5月18日皆で見学（味見！？）に行く事となりました。

「そばクリームあんみつ」は通常のソフトクリームにそば粉が練り込まれており、食べるとほんのりそばの香りが楽しめます。

そばの香りに包まれながら若かりし頃の経験談や、そばの品種についてなど、いつもより話に花が咲いたミニデイサービスでした。



おしゃれの日 ～たまにおしゃれもいいね～

昨年の12月から「おしゃれの日」を始めました。職員が、希望された利用者の爪にマニキュアを塗るおしゃれです。

ピンク色、キラキラ光る色など4色の中から1色を選んでもらい塗りました。初めて塗ったという方、前は塗っていたが暫くぶりで塗ったという方もいました。中には男の人が希望して塗っている方もいました。「たまにおしゃれもいいもんだね。」という声もきかれ、これからも行っていきたいと思います。



ひまわり荘

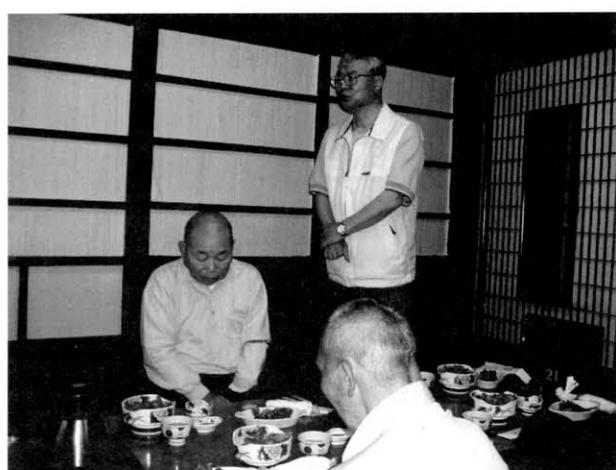
バス遠足～また行きたいね～

今年度1回目のバス遠足は6月11日に、利用者10名と職員3名で行ってきました。

初めに清水公園の鯉、つつじの花を見た後は、昼食を食べに芽室の松久園に向いました。にじますのから揚げ、あらい、刺身などを美味しく食べました。昼食後は松久園の由緒あるきれいな庭を見学してきました。



綺麗に咲いてるね



それでは美味しい頂きましょう！

春のピクニック ~晴れて良かった♪~

6月9日、朝から風も冷たくどんよりした天気に見舞われましたが、なんとか天候も回復し、佐幌川公園にピクニックに行きました。

晴れ間が覗く中、東屋でのんびり座ったり、アスレチックで滑り台をすべったりと楽しい時間を過ごしました。施設残りの方は、ホールで風船バレーや池まで散歩したり、お弁当を食べられ、楽しまれました。



久しぶりに滑ったな～



ほらほら！そっち行ったよ！

帯広買物外出 ~いいもの買えたかな?~

今年度は11月まで利用者さんの希望の月と買いたい物に合わせて、買い物外出を計画しました。

4月26日に1回目の買い物に行ってきました。イトーヨーカドーにて、欲しかった服や下着を買い、久しぶりの外出を堪能されたようです。



ラーメン好きなんです。



沢山買物できたかな?

日帰り旅行 ~熊に圧倒されました~

今年、日帰り旅行を3回に分けて行うことになり、1回目として5月28日にサホロコースのペアマウンテンへ行って来ました。

テレビで見る熊とは違う生の迫力に、利用者より職員がはしゃいでしまいましたが、皆さん楽しまれました。

次回は9月に2回目の日帰り旅行「果物狩」が行われます。



何頭のクマが居るのかな??



ガラス越しでも怖いよ♪

一泊旅行

～道東方面へ観光の旅編～

5月から6月にかけ、3班に分かれて道東の阿寒湖・摩周湖方面へ一泊旅行に出掛けました。

初日は足寄経由で阿寒湖に向かい、阿寒湖畔にて昼食を摂り、遊覧船に乗船。職員を含めて遊覧船に乗るのが初めての方が多く、船内から景観を楽しむことができ、また途中マリモ展示観察センターに立ち寄り、世界でも類がない大型マリモを観察しました。阿寒湖の散策後は、摩周湖へ向かいました。『霧の摩周湖』で有名ですが、訪れた3班ともはっきりと湖をみることができ、一同感動しました。

初日の観光を終え、弟子屈町内にあるユニバーサルデザインホテル『風曜日』さんで宿泊しました。全面バリアフリーでお部屋も広く、利用者にとっても快適に過ごせた様子です。また、地元で採れる野菜を中心にした料理は、とっても美味しかったです。

2日目の最初の観光地は硫黄山です。近くで山を見たいとのことで独特の臭いがありました。鼻を抑えながら記念撮影もしました。続いて向かったのは屈斜路湖。砂湯の地で、クッキーの模型と写真を撮ったり、足湯にもつかり各々楽しむ事ができました。この後は、美幌峠を通り美幌町内で昼食を摂り、施設へ帰園しました。

施設としては初の道東方面への一泊旅行でしたが、利用者も初めて訪れる観光地を巡り、お土産もたくさん購入し、楽しい思い出ができたと口々に言われました。今後も利用者が楽しめる一泊旅行を企画していきます。



阿寒湖～遊覧船に乗船！



摩周湖～晴れでいて湖がはっきり見えました



屈斜路湖～クッキーと一緒に記念撮影

屈足手話の会訪問 ～手話の歌で交流しました～

5月28日に屈足手話の会(ともしひ会)のメンバー10名が来園され、手話の歌を披露して頂きました。

施設が開設した平成12年から毎年お越し頂いており、今回は「四季のうた」「おかあさんのうた」「ふるさと」の3曲を披露して頂きました。

「ふるさと」の曲ではメンバー全員がステージを降り、利用者と一緒に手話を交えながら交流しました。



「ふるさと」の曲
手話で交流しました



毎年ありがとうございます

誕生者外出 ～皆さんおめでとうございます～

屈足わかふじ園では、昨年までは利用者が生まれた日の当日に、ささやかながらお祝いをしておりましたが、今年度からは、その月生まれの利用者が希望される外食を行っています。もちろん生まれた当日にもお祝いをさせていただくことは、継続して行っています。

4～6月生まれの利用者は、回転寿司と焼き肉に行きたいという希望があり、生まれた日が近い人たちでまとまって、お連れしました。

皆さんおめでとうございました。



私達は回転寿司に行きました



私達は焼き肉チーム！

日本ハム野球観戦

～メガホン片手にガンバレー！～

5月21～22日に札幌方面へ一泊旅行に利用者2名と職員2名で行つきました。

メインは5月21日に札幌ドームで行われた、日本ハムファイターズVS横浜ベイスターズの野球観戦です。

出発当日になり、ダルビッシュ投手が先発することがわかり、普段から野球好きの利用者2名（+職員2名も）は観戦前からドキドキしていました。

先制点を取り、大盛り上がりの札幌ドームでしたが、声援むなしく負けてしまいました・・・。

札幌市内で一泊した翌日は、大通公園でライラック祭りが開催されており、見学した後施設へ戻りました。

今回の野球観戦の結果は負けてしましましたが、日本ハムファイターズにはクライマックスシリーズ出場、優勝を目指して頑張っていただきたいです。

(株) 北海道日本ハムファイターズ様、今年度も「福祉シート」の寄贈をいただきありがとうございました。利用者・職員共々楽しく観戦させていただき、心より御礼申し上げます。



勝利のVとはいきませんでした…



大通公園のライラック祭りに参加しました

行事の予定

■わかふじ寮■

- 9月 5日（日）全道ろうあ者大会～6日
- 9月 5日（日）家族会研修旅行～6日
- 9月 11日（土）合同運動会
- 10月 2日（土）文化祭
- 12月 18日（土）クリスマス昼食会
- 12月 28日（火）感謝の集い



■新得やすらぎ荘■

- 9月 合同運動会、秋の味覚祭、買物外出（帯広）誕生会
- 10月 ゲーム大会、紅葉ドライブ、誕生会
- 11月 鍋の会、おやつの日、長寿の祝、誕生会
- 12月 クリスマス会、餅つき、誕生会

■やすらぎ荘■

- 9月 全道ろうあ者大会、合同運動会、秋の味覚祭、誕生会



- 10月 全国高齢聴覚障害者福祉施設協議会利用者交流会
日用品支給、施設内ゲーム大会、お料理の日、誕生会

11月 帯広外出、鍋の会、長寿の祝、誕生会

12月 餅つき、クリスマス会、誕生会、正月帰省



■屈足わかふじ園■

- 8月 21日（土）きずなの郷まつり
- 9月 屈足保育園交流会
- 10月 大雪まつり見学、秋の味覚祭
- 12月 音楽療法、クリスマス会

■ひまわり荘■

- 9月 秋のピクニック、敬老会、秋の交通安全教室
秋彼岸法要、日帰り旅行、合同運動会
- 10月 避難訓練、一泊旅行、買物外出、日帰り旅行
- 11月 幼稚園交流、買物外出
- 12月 餅つき、クリスマスの集い、年とり



平成21年度 事業報告

■ 法人本部

平成21年度は、新政権が誕生し、障害者自立支援法の廃止が示され、新たに「障害者総合福祉法（仮称）」の制度構築に向け、障害者制度改革推進会議が障害当事者を中心に協議が進められることとなった。

このような状況の中、本法人として21年度中に次の通り事業を行った。

1. 新得町の補助事業として地域移行を希望する障害者と1人暮らしに不安のある高齢者が共に暮らせる共生型共同住宅の認可を受け現在整備中。（平成22年6月完成予定）
2. 車両整備事業では、わかふじ寮で障害福祉サービス事業（就労移行）として運搬用トラックを日本財団の補助により整備を行った。
3. 養護老人ホームひまわり荘の移転改築に向け、太田眞弘氏所有地を法人自己資金及び新得町補助金により購入した。
4. 理事会の開催（9回）、建設委員会の開催（5回）、監事監査（4回）、監事による事業の監査（1回）、評議員会の開催（4回）、役員研修（3回）、顧問契約（松浦弁護士、富士道公認会計士）、本部各専門部会（管理部会、施設・在宅事業部会、就労センター部会、研修部会）

■ わかふじ寮・第2わかふじ寮・わかふじワークセンター

利用者への支援の中心となる個別支援については、モニタリングを定期的に実施し、支援内容の見直しや確認を行いながら実施することが出来た。

就労支援については、就職面接会等に参加するなど一般就労に向けた支援を行なったが、障害者の雇用状況は厳しく、一般就労に結びつけることは出来なかった。又就労移行支援については延長1年の期限を21年9月末に迎えたことから、10月1日よりわかふじ寮は就労移行支援（注1）の定員を6名とし、就労継続支援B型（注2）定員34名に事業内容を変更した。又わかふじワークセンターについても就労継続支援B型に事業変更した。

10月の制度の改正により、障害者のグループホーム、ケアホームの利用が可能になったことに伴い、先進的事業支援特例交付金「共生型基盤整備事業」の申請を行い、高齢者と障害者が地域において共に暮らせる共生型住宅の建設に向けての事業を進めた。12月に内示を受け、3月に工事着工となった。（平成22年6月完成予定）

障害者の利用予定者は現在施設に入所されている方であり、入所施設から地域生活にむけた新たな第一歩になった。

【1】介護部門

- ①個別支援計画に沿って支援を実施しており、定期的にモニタリングを重ねながら進めた。

【2】就労移行部門

- ①就労支援ネットワーク会議等に参加し、連携及び地域でのネットワーク作りについて情報収集を行なった。
- ②就労プログラムに基づき一般就労に向けた支援を行った。
- ③地域生活移行・地域生活技能への支援を行った。
- ④就労移行支援の利用期間終了後の移行先についての検討を行った。

【3】医療部門

- ①7月にミニ人間ドッグを受診した。乳がん・子宮がん検診は8月に入所者、3月に通所者が受診した。
- ②11月にインフルエンザ予防接種を実施した。流行時期には早めに声かけをし、手洗い、うがいの徹底を行った。

【4】食生活部門

- ①冷蔵庫、温蔵庫を使用し、調理を配膳の直前に行うようにする等の対策を行った。

【5】地域交流・地域解放・関係団体との交流・広報活動

- ①毎週木曜日、職員が講師として参加し、手話サークルの支援を行った。又行事にも参加を呼びかけた。

【6】授産事業

- ①現在も続く日本経済の不況のなか、公共事業・補助金削減や資材高騰などの影響を受け、厳しい活動であったが、「売上確保」「利益向上」「コスト削減の強化」を目標に事業振興に取り組んだが、当初の目標金額には達成できなかった。しかし、下方修正した目標金額は越えられた。

(注1) 就労移行支援・・・就労に必要な知識及び能力の向上に必要な訓練を行う事業所(64歳以下)

(注2) 就労継続支援B型・・・一般企業等での就労が困難な方に働く場を提供し、就労移行に向けた知識及び能力の向上、及び工賃向上に必要な訓練を行う事業所

■ 特別養護老人ホーム 新得やすらぎ荘

施設は、個人の尊厳を重視した質の高いサービスを提供するように努め、明るく家庭的な雰囲気を有し、地域や家族との結び付きを重視した運営を行い、市町村、居宅介護支援事業者等の関係機関や他の介護保険施設又は医療機関との密接な連携を図った。

【1】利用者サービス全般

- ①施設サービスの提供に当たっては、懇切丁寧を旨とし、利用者又はその家族に対し、利用契約時、利用者やその家族から要望があった時等必要に応じて説明を行なった。
- ②利用者と家族との連携を図り、利用者とその家族との交流等の機会を確保するため、家族の面会時や広報誌、担当替えに合わせてのお知らせ等で利用者の近況を家族へお知らせした。施設行事への参加を促し、交流の機会を持った。

【2】介護部門

- ①個別の関わりを大切にするため、各種行事やクラブ、個別の活動（友遊クラブ等）の内容を充実させ、利用者が明るく、楽しく、安心して日常生活が送れるように支援した。今年度から月に一度昼食に誕生会を開き、利用者の希望を取り入れた献立を提供するなど新たな行事の充実に力を入れた。また、利用者の要望に合わせ、買い物や散髪やドライブといった個別での対応をおこなった。
- ②施設で求められているターミナルケアの実践に向けて学習会を開催し、知識を深めた。
また、週に一度看取りケア会議を行い、各部門との連携を密に行なうことができた。

【3】医療部門

- ①時代に応じた感染症予防のため、ノロウイルス、インフルエンザ感染予防は各部署と連携を図り、取り組んだ。又、新型インフルエンザの動向は研修会に参加し職員にも伝達又、予防に関わる非常用物資の備蓄をするなど対応に努めた。
- ②利用者やその家族又は時代のニーズに応じたターミナルケアの知識を深め、対応への取組みを検討し、家族への状況報告、説明を密にしてケアの充実に努めた。

【4】給食部門

①栄養ケアマネジメント等については、利用者の身体状況を考慮し、利用者個々に調査し、ケアマネジャーと相談しプランの見直しや作成を行い、家族に同意をいただいて行った。

②食事の質の確保として、個別にモニタリングを行い、その人に合った食事の提供を行う様に努力した。

【5】短期入所生活介護事業

①緊急時の通院、利用者や家族のニーズに応え、1日ショートや体調不良時の通院（家族が対応出来ない場合）を行った。

②介護者の疾病や入院のため一人暮らしが出来ない等の理由により、緊急時には受け入れを行った。

■聴覚障害者養護老人ホーム やすらぎ荘

施設は、老人福祉法及び関係法令及び通知の改正に基づき、利用者の自立支援の為のソーシャルワーク機能を強化し、利用者の生活意欲の増進等を図り、生きがいをもてる健全で安らかな生活ができるよう支援した。また、市町村などの関係機関と密接な連携を図った。

平成18年10月から養護老人ホームに関する制度の改正が行われ、要介護認定を受けた入所者が個々の居宅サービス事業者と契約を結び、そのサービスを利用する個別契約型を行っていたが、平成20年2月1日より個別契約型から特定施設入所生活介護型へ移行を図った。さらに法令を遵守し、より一層良いサービスが提供出来るように努めた。

また、虐待防止の徹底や新型の感染症の防止等、時代に即した処遇、サービスの提供に努めた。

【1】生活支援部門

①特定施設としてのサービスを提供して進めた。また、毎月ケア検討会議を開催し、適正を図った。

②特定施設への移行後も支援員ミーティングにて打ち合わせし、ケア検討会議へ反映させながら、利用者へより充実し安定したサービスを提供出来るように職員一人一人が努めた。

【2】医療部門

①常に利用者の全身状態を把握し、異常時は担当医へ報告し、医療機関を受診した。

②看護員の夜間当番については専用携帯電話にてオンコール体制を敷き、緊急時の対応をした。

【3】給食部門

選択メニューの他、行事食についても利用者の嗜好を取り入れ、メニューに反映させた。また、第3日曜日にお好み献立として利用者の希望を聞き、提供した。その他希望者のみ毎週日曜日の朝食にパンを提供した。継続して行った。

【4】地域社会との交流・広報活動

新得神社祭りや敬老会等に参加した。また、11月1日には町民芸能芸術祭に手話の歌で参加した。

■日帰りサービスセンター やすらぎ荘

デイサービスでは、機能向上、栄養改善、口腔機能の向上の選択的サービスを実施し、利用者の希望に合わせて提供できる体制作りを行った。栄養改善については、希望が得られずサービス提供には至らなかった。また、昨年度から学習療法を開始し多くの利用者が取り組んでいるが、継続的に続けていただけるように職員の指導力等の向上に力を入れた。更に、利用者のニーズに合わせたレクや趣味活動の多様化等利用者に喜ばれるデイサービスを目指した。

週3回の午後デイは、利用者が定着してきたので、より内容の充実を図り利用者に楽しんで頂けるよう努めた。

その他に職員の施設内研修、外部研修の機会を多くもち、職員のモチベーションの向上に努めた。

■居宅介護支援事業所 新得やすらぎ荘

平成21年度介護報酬の改定により、専門性のある質の良い介護サービスを医療と介護の連携を図りながら提供していく事に対し加算が付けられるようになった。当事業所においても利用者と家族の意向に沿って、専門職として総合的なケアマネジメントを基にプランの作成を行ない、各事業所や行政等他職種の連携・調整を図る事で、適切な介護サービスや福祉サービスの利用ができるよう努めた。また制度情報の把握やケアマネジャーの資質向上のため研鑽し、利用者や家族に対し総合的支援を続けてきた。

■訪問介護事業所 新得やすらぎ荘**【1】高齢者サービス**

利用者の望む在宅生活が送れるよう、訪問による利用者及びその家族との面接や、担当ケアマネージャーからの情報収集に努め、サービスを整理し提供することができた。特定施設においても連携を図りながらスムーズにサービス提供ができた。

新たに介護福祉基礎研修の開講や、事業所加算対象事業所としての認可を受けた事で、訪問介護員の資質向上が必要となり、研修の開催や各種研修への参加も徐々に行えた。

その他、自家用自動車有償輸送においては随時実施し、対象利用者に対するサービスを提供する事が出来た。

【2】障害者サービス

障害者が地域において安心した生活を営める為の支援として、生活支援を中心に、家族間における関わりや、地域との関わりにおいても視点を置き、自立へ向けた側面からの支援を行った。

コミュニケーション支援事業についても依頼があった際はスムーズに派遣する事ができた。

■屈足わかふじ園

障害者自立支援法の施行により、11月1日から新体系へ移行し、障害者支援施設(生活介護・施設入所支援・短期入所)の事業を展開した。経過的デイサービスについては、新体系移行に伴い、生活介護事業の日中活動となり、開所日数が昨年度より増えた為、利用者数も増加した。

サービス提供では個別支援計画書の様式を変更し、定期的にモニタリングを実施し個々のニーズに応じた適切なサービス提供に努めた。生活面では余暇活動の見直しを図り、利用者の意見を聞き、外出行事等の活動を多く取り入れた。また、生産活動開始へ向け検討を行った。

【1】介護部門

①支援経過の流れがわかる様、個別支援計画書の様式を変更した。また定期的にモニタリングを実施し、生活支援に活用した。

②職員同士声を掛け合い、連携を密にして事故防止に努めた。前年（全体報告数207件）と比べ、50件程減っている（153件）。引き続き、ヒヤリハット報告書を活用し、大きな事故につながらない様、統一した意識をもって介護を行った。

【2】医療部門

- ①利用者の状態把握に努め、異常時には速やかに対処し、毎週回診時には適切な情報提供を行った。
- ②感染症対策委員会を設け、感染予防に積極的に取り組んだ。特に新型インフルエンザの対応は適切に行えた。

【3】給食部門

- ①嗜好調査については随時行った。また給食会議に利用者の代表3名の出席を得て行った。
- ②行事の時にはテーブルの配置を換えたり、飾り付けをしたり、普段と違う雰囲気作りが出来るように工夫した。
- ③定期的にジンギスカンや鍋などテーブルを囲み、料理しながら食べられる行事を取り入れた。
- ④昼食と夕食時に副食を保温庫で保管し、食事直前に配膳を行い温色の提供を行った。

【4】リハビリ部門

- ①新規入所者をはじめ、利用者個別の訓練計画を立て、個別支援計画書に反映させた形で進めることができた。
- しかし、身体機能の維持と日常生活動作の拡大は図れず課題が残った。
- ②月2回、北斗病院の理学療法士と介護スタッフ・柔道整復師による身体状況確認と訓練メニューの評価を行いながら進めることができた。

【5】生活支援部門

- ①入所前面接の際に説明を十分に行い、施設の情報を提供し、利用者や家族の理解を得て契約を行った。
- ②利用者からの困り事や相談があった際には、随時受け入れ、個別に相談を行うなどの対応を行った。
- ③新体系へ移行にあたり、家族会総会の際に家族への理解と周知を行った。

また、新体系へ移行の際の契約及び同意に関しての手続きはスムーズに行えた。

【6】防災関係

- ①避難訓練を実施し、その内1回は夜間を想定した訓練を行った。

【7】研修関係

- ①法人・施設内外の研修会には可能な限り積極的に参加し、研修後は必要に応じて、報告書を提出し、職員会議では研修報告を行い、参加していない職員にも伝達研修を行った。

■ 養護老人ホーム ひまわり荘

施設は、本年度、町の指定管理者から移行され、完全に厚生協会の施設となった。
運営にあたっては、新たに厚生協会の指針に沿ったひまわり荘運営規定を策定。これらに基づいて、運営方針や支援目標、さらに支援方針を樹立し、利用者の支援に努めた。

一方、老人福祉法、介護保険法及び関係法令を遵守して、利用者の個別性を重視し、利用者サービス向上のため、利用者の主体性を尊重、介護サービスの質の向上に努めた。

利用者の意向、自立支援のため、地域との関わりを多く持ち、社会性を保持するため、町内の行事に参加するよう努めた。さらに市町村などの関係機関や医療機関との密接な連携を図り、利用者の生活の向上や健康保持に努めた。

【1】利用者との話し合いによる施設運営の推進

- ①利用者で組織する「ひまわり会」を4月、9月、12月に開催し利用者の意見を十分に反映し施設運営に努めた。
- ②利用者とのコミュニケーションに努め、職員の統一した個別サービスを提供のため、職員会議（月1回）、処遇会議（随時）、介護員ミーティング（月1回）を開催し、職員の意識を統一するようにし信頼関係の確立に努めた。

【2】個別援助

- ①利用者の個々の生活や意思を尊重し、外出、散歩などを行い自立促進に向け、日常の養護に努めた。
- ②日常生活全般の安全に配慮し、ヒヤリハット、事故報告書の作成、早急に検討が必要なものは毎日のミーティングで対応方法の検討を行っている。事故報告書は月1回開催している事故防止委員会で分析を行い事故防止に努めた。

【3】健康の維持増進

- ①機能回復や健康保持のため、レクリエーションやラジオ体操、クラブ活動への声掛けを行い、あまり参加されない方へは様々なレクリエーションや外出の機会を設け、参加を促した。
- ②施設内感染対策委員会を開催し、インフルエンザ、ノロウイルス等の感染症、食中毒等に対して、感染予防に努めた。

【4】家族との連携

- ①家族との集い、施設行事等を通じて、家族との交流する機会を増やし、夏祭りに初めて家族に参加を呼び掛けし、来荘して頂いた。

【5】生きがいのある生活

- ①デイサービスや町で実施している介護予防事業等に参加をした。

【6】食生活

- ①行事食、セレクトやバイキングメニュー等を積極的に取り入れ、喜ばれる食事の提供に努めた。
- ②食事委員会等で安全で快適な食事環境を作れるよう検討した。

【9】特定施設入居者生活介護

- ①介護サービスが必要と思われる利用者は、本人、家族と相談の上、速やかに要介護認定申請手続きを行った。
- ②要介護、要支援認定後はニーズにあった介護サービス計画を作成し、その計画に基づいて適切な介護サービスが受けられるよう、訪問介護事業所との連携に努めた。

■ 訪問事業所 ひまわり荘

厚生協会に移行した当事業所は、当会の指針に沿った事業所の運営を行うとともに、介護保険法等の関係法令を遵守し、介護サービスの提供を行った。

特定施設入居者生活介護事業所利用者を中心に身体介護、生活支援を行った。サービス内容の見直しやサービス向上の為、月1回会議を行い、その人に即したサービスに努めた。

さらに養護老人ホームと連携した生活援助活動を行い、関係機関との連携を密にし、日常生活の支援に努めた。

【1】身体介護サービス

- ①利用者の日常生活動作の維持及び向上の為、ケアプランに沿った援助を行い、問題が出た時は、介護員ミーティング等、職員間で話し合い、検討した。

【2】家事援助サービス

- ①利用者の自立促進につながるよう、基本的な日常生活の支援を行った。

平成21年度決算報告

2

平成22年3月31日現在

財産目録

(単位：円)

資産の部		
科 目	摘 要	金 額
流動資産		605,414,190
固定資産		3,360,066,338
資産合計		3,965,480,528

負債の部		
科 目	摘 要	金 額
流動負債		87,379,348
固定負債		345,378,813
負債合計		432,758,161
差引正味資産		3,532,722,367

貸借対照表

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	605,414,190	流動負債	87,379,348
固定資産	3,360,066,338	固定負債	345,378,813
		基本金	14,500,000
		国庫補助金等特別積立金	1,796,014,855
資産合計	3,965,480,528	その他の積立金	386,773,863
		次期繰越活動収支差額	1,335,433,649
		負債純資産合計	3,965,480,528

事業活動収支計算書

科 目	金 額
介護保険収入	423,192,365
利用料収入	88,940,128
措置費収入	255,418,711
その他の事業収入	0
自立支援費等収入	553,714,238
補助事業等収入	7,142,913
経常経費補助金収入	0
寄附金収入	17,162,963
雑収入	10,664,799
借入金元金償還補助金収入	19,330,000
借入金利息補助金収入	2,753,438
経理区分間繰入金収入	56,085,436
受取利息配当金収入	935,528
授産事業収入	132,786,739
施設整備等補助金収入	69,605,000
補助金等特別積立金取崩額	58,421,993
収入合計	1,696,154,251
人件費支出	736,286,257
事務費支出	190,218,727
事業費支出	222,404,460
借入金利息支出	4,774,900
経理区分間繰入金支出	56,085,436
授産事業支出	133,303,437
その他の支出	0
国庫補助金等特別積立金積立額	36,530,000
引当金繰入	14,840,080
減価償却費	81,705,516
固定資産処分損	0
支出合計	1,476,148,813
当期活動収支差額	220,005,438
前期繰越活動収支差額	1,202,398,211
その他の積立金取崩額	8,830,000
その他の積立金積立額	95,800,000
次期繰越活動収支差額	1,335,433,649

資金収支計算書

科 目	金 額
介護保険収入	423,192,365
利用料収入	88,940,128
措置費収入	255,418,711
その他の事業収入	0
自立支援費等収入	553,714,238
補助事業等収入	7,142,913
経常経費補助金収入	0
寄附金収入	17,162,963
雑収入	10,664,799
借入金元金償還補助金収入	19,330,000
借入金利息補助金収入	2,753,438
経理区分間繰入金収入	56,085,436
受取利息配当金収入	935,528
授産事業収入	132,786,739
施設整備等補助金収入	69,605,000
固定資産売却収入	0
積立預金取崩収入	8,830,000
収入合計	1,646,562,258
人件費支出	736,286,257
事務費支出	205,058,807
事業費支出	222,404,460
借入金利息支出	4,774,900
経理区分間繰入金支出	56,085,436
授産事業支出	132,195,627
流動資産評価減による資金減少額	0
積立預金積立支出	95,800,000
借入金元金償還金支出	27,970,000
固定資産取得支出	98,607,446
投資有価証券取得支出	0
予備費	0
支出合計	1,579,182,933
当期資金収支差額	67,379,325
前期末支払資金残高	450,655,517
当期末支払資金残高	518,034,842

ご寄付・ご寄贈ありがとうございました

平成22年2月から平成22年5月まで（敬称略）

【本 部】

新得町 橋井 良夫
佐々木忠利
高久 教雄
齐藤 三男
鹿追町 田仲 昭
草津市 今村 正勝
足寄町 高橋 敏
八雲町 鈴木トミノ
旭川市 橋本 弘
苦小牧市 牧野 武司
横浜市 島津千鶴子

【わかふじ寮】

福岡市 (株)九食
深川市 須田 有俊
小樽市 金子 治郎
標茶町 大山 敏宏
芽室町 後藤 幸雄
新得町 川崎 勉
玉川菓子店 (有)みうら
岩見沢市 佐藤 陽一
洞爺湖町 篠原 紀彦
別海町 水沼 和子
苦小牧市 木村 忠信
日高町 藤沢 英明

小樽市 金子 和令
逗子市 高橋 清子
むかわ町 貴俵サワ子
秋田県 横山 繁
札幌市 平田 敬一
坂口 和成

【やすらぎ荘】

新得町 千葉 玄昭
芽室町 谷保 義明
美瑛町 堀川 静香

【新得やすらぎ荘】

新得町 米田アキ子
新得町社会福祉協議会
湯浅 亮
橋井 良夫
手話コーラスの会
玉川 一夫
鈴木 貞雄
屈足寿会ディスコダンス
サークル
水本
白鳥あつ子
清水 輝男
佐々木フサエ
千葉 哲男

帶広市 大村 真弓
後藤
小樽市 山村 愛子
釧路市 島 純一
横浜市 平下トキエ
滋賀県草津市 今村 正勝

【日帰りサービスセンターやすらぎ荘】

帶広市 佐藤 弘恵

【屈足わかふじ園】

新得町 館内 弘美
玉川菓子店
川口 アキノ
及川 敏江
太田新聞販売店
朝日1町内会婦人会
橋場 カズ子
金田 和子
岩野 文雄
下元 博子
清水 せい子
屈足手話の会
ともしひ会
帶広市 迎 孝胤
柳沢 秀一
音更町 宮路 禮子

茅室町 藤澤 三夫
足寄町 高橋 敏
広尾町 森田 府美也
芦別市 北橋 久光
沖縄県 仁愛療護園

【ひまわり荘】

新得町 成田 春子
橋場カズ子
中谷 和彦
千葉 哲男
梨本 尚里
菅原 耕蔵
札幌市 相楽 弘美
赤松 正憲
清水町 山口 哲
森田ツヤ子
音更町 後藤 弘晃
高橋 正廣
芽室町 佐々木路子
鹿追町 森谷 良子
新潟市 太田 和正
東京都 桑原 和子
神奈川県 春日 康佑
群馬県 田嶋 敏之

社会福祉法人厚生協会では、法人各施設の様子や情報をホームページやブログで公開しています。ご意見やご希望についても電話・Eメールで受け付けています。

厚生協会ホームページ
<http://www.wakafuji.or.jp>

「ペットのおやつ」ブログ
<http://blog.campan.info/wakafuji>
ブログ「屈足わかふじ園日記」
<http://blog.campan.info/wakafujienn/>

厚生協会E-mailアドレス
wakafuji@rose.ocn.ne.jp (屈足わかふじ園)
wakafuji@netbeet.ne.jp (わかふじ寮)
yasuragi@rainbow.ne.jp (やすらぎ荘)
himawarihome@ivory.plala.or.jp (ひまわり荘)

この広報誌の中で使用させていただいている利用者の顔写真等は、すべてご本人の了承をいただき、掲載しています。

編 集 後 記

今回は、各施設の昨年度の事業報告を掲載し、一年間の報告をさせて頂きました。

共生型ホーム「さくら」も完成して新しい事業が始まりました。これからも厚生協会の取り組んでいる事業や各施設で実施している行事などを皆さんにお知らせしていきたいと思います。

わかふじ寮ウエス販売事業の紹介

ウエスとは機械類などの油や汚れ、不純物等を拭き取ってきれいにするために用いる布です。ウエスの語源はwaste（英語ウエスト：無駄・くず・ほろ・廃棄物）から訛ってウエスと呼ばれるようになりました。

本来、古着や古布を再利用して雑巾代わりにするもので、分別収集などゴミを資源として収集する制度が盛んな地域では、古着・布製品として収集された物の一部がウエスとして流通しています。また布製品の製造過程で出るハギレもウエスに利用されています。

わかふじ寮では古布をウエスの原料として利用者の方々が規格に沿って裁断・梱包し、現在10種類のウエスを製造、販売しています。今回はその中でも主な3種類のウエスを紹介させてもらいます。



5Kg梱包 1,155円

原材料：シーツ・布団カバー
枕カバー・テーブルクロス



5Kg梱包 1,470円

原材料：バスタオル
タオルケット



5Kg梱包 1,470円

原材料：おしほり

お願い

今現在、ウエス販売事業ではウエスの原料となる「バスタオル」「フェイスタオル」「タオルケット」が不足しています。ご家庭（新得町内）で不要となった品がありましたら、下記までご連絡下さいますようお願い致します。

社会福祉法人 厚生協会 わかふじ寮
TEL 0156 (64) 5001 担当：加藤優平・高松公夫